

自由と人権 通信

liberty & human rights NEWS

号外 (2023.4.14)

編集・発行:「自由と人権」榎本 (090-1884-5757)

ホームページ <http://www.bbm-a.jp/~eno-takanosu1737/jiyu/index.htm>

目次

- ① 東大和市長・市議会議員立候補予定者、「平和と軍事」政策アンケート結果公表 P1
- ② 「アンケートのお願い」「回答用紙」 P2
- ③ 集計結果とコメント P3~4
- ④ 笑ってばかりもいられない…… P4
- ⑤ アンケートこぼれ話 P4

「自由と人権」
ホームページ



ご自由に
お持ちください

号外!

—2023年統一地方選—

東大和市長・市議会議員立候補予定者 平和と軍事 政策アンケート集計結果公表

「自由と人権」では、4月16日に告示(23日投票)の市長選・市議選に立候補を表明している方のうち、電話、メール等の方法で連絡可能だった(現職議員17名を含む)27名に平和と軍事に関する政策アンケートをお送りしました。多忙なところ、アンケートに真摯に答えていただいた候補者の皆さんに感謝いたします。

締め切りまでに回答をお寄せくださった方は、全27名のうち12名で、半数にも至りません。もちろんアンケートですから、回答の有無については自由です。しかし、それは一般論に過ぎません。全体の奉仕者である公務員(市長はもちろん、市議会議員も地方公務員法第3条3項一に定める特別職の公務員です。)になろうとする者にとって、その一般論は通じません。

公務員を志す者は、市民からの請求に、むしろ積極的に応答すべき立場にあります。少なくとも、現職議員についてはその義務があると言っても過言ではないでしょう。しかるに、アンケートに回答した現職議員は17名中6名、1/3にも達しません。回答に應じなかった候補者は、市民すべての代表であるという自覚に欠け、議員、とりわけ市長たる資格が、この時点で失われたというべきでしょう。

彼らは、当選ラインに達する支持層がいれば、それでいいとでも考えているのかもしれませんが、このような議員が多数では、市議会改革の見通しは暗いと思います。

次ページ以降で、「アンケートのお願い」(アンケートの趣旨が書かれています)、「回答用紙」(アンケートの内容と記入・集計方法について書かれています)と集計結果について公表します(事前に確認済み)。なお、候補者氏名の表記は、候補者ご自身の表記に従いました。



「自由と人権」は公民館利用登録団体です。基本的人権や市民的自由について考え、行動しています。関心のある方は上記までご連絡ください。

「自由と人権」定例会は、
(原則的に)毎月第2土曜日
午後1時30分から、
東大和市立中央公民館です。
(参加費無料)

様

アンケートのお願い

2023 年 4 月 4 日

「自由と人権」

連絡先： XXXXXXXXXX

榎本清（090-1884-5757）

メール：eno-takanosu1737@bbm-a.jp

わたしたちは東大和市を中心に活動している市民グループ、「自由と人権」です。

「自由と人権」は、憲法が定める基本的人権を自身の不断的努力によって守り、その精神を活かした行動をとることを基本的な姿勢としています。したがって、基本的人権が最も脅かされる戦争への道は、断じてこれを拒否し、市民的な自由と平和を守るため、微力ながらも活動を続けています。

今般の統一地方選挙では、東大和市長と市議会議員が選出されます。地方自治体の選挙は、どうしても市民の生活に密着した教育・福祉・地域振興などが話題になりがちですが、果たしてそれだけで良いのでしょうか。

国家的な課題である外交や安全保障問題に、地方自治体の首長や議員が直接かかわることはないとはいえ、市民の代表である市長や市議会議員がどのような政治姿勢を持っているかということは、わたしたち市民とっても無縁のことではありえないのです。なぜなら、国家的な政策転換は、津波の襲来のごとくわたしたちに押し寄せ、市民的利益など一気に飲み込まれてしまうからです。

日常的には意識することもない大きな波は、突然わたしたちに襲い掛かり、いのちごと奪ってしまうことさえあります。そのようにならないためにも、市民の代表である市長と市議会議員がどのような人であるかということはとても重大です。

東大和市は 1990 年 10 月 1 日、恒久平和の実現と、核兵器の廃絶を願い、「平和都市」であることを宣言しました。その宣言には次のようにあります。「世界で唯一の核被爆国の国民として、また、国際社会の平和と協調を理念とする憲法をもつ国の国民として、人類の安全と幸福のために、地域紛争を含むすべての戦争の防止と、あらゆる核兵器の廃絶を心から願うものである。」

この一節には、わたしたちの前の世代の人たちが、戦争の悲惨や残酷さ、無意味さを心から悔い、貧しいながらもやっと自由を手にした喜びと、二度と戦争はしないと決意があふれています。この精神は、1947 年に施行された日本国憲法の平和主義を引き継ぐものです。東大和市の代表たる人物は、その精神と決意を堅持し、たかめる者であるべきでしょう。

市長、市議の別なく、反戦・平和に対する高い志と、自律的な行動が伴う人物でなければならないと、わたしたち「自由と人権」が考える所以です。

以上のような立場から、東大和市長選と市議選に立候補を表明している方に、その政治姿勢をお訊ねし、わたしたち自身の判断材料の一助にしたいと考えています。

お忙しいこととは存じますが、趣旨お汲み取りのうえ、ぜひ別紙の質問にお答えください。

回答用紙

【アンケートについて】

◆アンケートは、2023 年 4 月時点で立候補を表明している方で、「自由と人権」が連絡先を把握している方にお送りしています。

◆別紙「アンケートのお願い」のような趣旨からテーマを戦争と平和に関するものだけに絞り、またお時間をとらせないよう質問内容は簡略化し、回答内容も「はい」と「いいえ」の 2 つだけに絞りました。

◆お答えいただけない項目、または規定外のお答えは、それぞれ「無回答」、「不明」といたします。

◆アンケートにお答えいただいた後は、「回答用紙」を当方にお戻しください。

◆締め切り：4 月 12 日（水） ※当日までに当方に到達するようお願いします。

◆12 日までに当方に回答が到達しない場合や、ご連絡がない場合、または期日を過ぎて到達した場合は、「無答」といたします。

◆アンケートの回収

メールでの返信に回答を添付してください。市内であれば、要請に応じ直接受け取りにまいります。郵送の場合は、締め切り期日までに到達するようにしてください。

◆アンケートの内容と、お名前とお答えはすべて公表いたします。

【お名前】 _____

【質問】

※すべて「はい」か「いいえ」でお答えください。

①あなたは東大和和平都市宣言の内容を尊重しますか。

②憲法第 9 条の戦争と武力の放棄（1 項）と戦力と交戦権の否定（2 項）を順守しますか。

③現政権がすすめる GDP 比 2%に達する軍事費（国防費）予算に賛成ですか。

④いわゆる「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を、日本が持つことに賛成ですか。

⑤日本の武器輸出に賛成ですか。

⑥科学者による軍事研究に賛成ですか。

質問	①	②	③	④	⑤	⑥
お答え						

ありがとうございました。

アンケート集計結果

【質問項目】

※すべて「はい」か「いいえ」でお答えください。

①あなたは東大和平都市宣言の内容を尊重しますか。

②憲法第9条の戦争と武力の放棄（1項）と戦力と交戦権の否定（2項）を順守しますか。

③現政権がすすめるGDP比2%に達する軍事費（国防費）予算に賛成ですか。

④いわゆる「敵基地攻撃能力（反撃能力）」を、日本が持つことに賛成ですか。

⑤日本の武器輸出に賛成ですか。

⑥科学者による軍事研究に賛成ですか。

候補者名（50音順）	①	②	③	④	⑤	⑥
あらはた 伸一（現）	無答					
石田 しょうたろう	はい	無回答	無回答	無回答	無回答	無回答
大川 はじめ（現）	無答					
尾崎 りいち（現）	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
押本 修	はい	はい	はい	はい	いいえ	はい
上林 まさえ（現）	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
きどおか 秀彦（現）	無答					
木下 とみお（現）	無答					
佐竹 やすひこ（現）	無答					
関 あや子	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
だいご はるお（現）	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
たかみね 章	無答					
床鍋 義博（現）	はい	はい	いいえ	はい	はい	はい
中野 志乃夫（現）	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
なかま 建二（現）	無答					
中村 庄一郎（現）	無答					
並木やすひろ	無答					
二宮 よしこ（現）	はい	はい	いいえ	不明	いいえ	いいえ
根岸 としひこ（現）（長）	無答					
はちすか かずまさ（現）	無答					
早川 みほ	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
東口 まさみ（現）	無答					
前田 太一	無答					
森田 ひろゆき（現）	無答					
やぎした 進（長）	はい	はい	いいえ	いいえ	いいえ	いいえ
横川 みどり	無答					
和地 ひとみ（市）	はい	はい	いいえ	はい	いいえ	はい

【表記について】

※（市）は市長候補者 （現）は現職議員

「無回答」：アンケート項目が空欄

「不明」：アンケート項目に「はい」「いいえ」以外の記述があった場合

「無答」：アンケートに対する応答がいっさいなかったか、期日を過ぎて到達した場合

今回のアンケートでは、あえて身近な問題を取り上げず、国家レベルの政策課題、とりわけ平和と軍事にかかわる質問をしました。身近な問題も大切ですが、それ以上に国策に関わるテーマは、時としてわたしたちの命と暮らしを根こそぎ奪いかねない課題だからです。どぶ板を修理してもらって、生活が破壊されてしまってはもともともありません。今回の選挙は、現政権のすすめる平和と軍事政策の評価でもあることを忘れてはならないでしょう。

候補者の党派・会派名を今回は示しませんでした。ある会派は申し合わせをしたかのごとく、全員が回答をしていません。旗幟鮮明にせず、ほッ被りしたまま集票に走る姿は公明正大とはいえません。



笑ってばかりもいられない……

「親分、武器の提供をお願いしますぜ!」「まかせとけて、だが、戦うのはあくまでもアンタだぜ」
「もっと武器を買ってくれたまえよ」「ヘエ、だんな、今年は赤字覚悟のそろばん勘定でさあ」「わかってるな、やつらと一戦交えるのは、おまえさんだからな」

そんなやり取りが聞こえてきそうな、じつうまい画像配置とコメントだ。



しかし、リアルなだけに笑ってばかりもいられない。

「親分」と一緒になって、戦争のお先棒を担ぐのはまっぴらごめんだぜ!

わたしではない
主役は君だ



(上) 2022年12月21日
支援に感謝するゼレンスキー大統領。武器援助の継続を約束するバイデン米大統領。

(下) 2023年1月13日
岸田首相、軍事費倍増計画、敵基地攻撃もできる国にすると報告。(共にホワイトハウスにて)

『笑い茸』 (No.139 2023年2月より)

アンケートこぼれ話

アンケートを求めているさなか、ある議員候補者(現職)から回答の強要であるとして、弁護士に相談すると恫喝を受けた。当方としては「強要」したなどという覚えは全くないが、当人には回答することができない事情でもあって、そう感じたのであろう。

今どき「弁護士に相談する」などという脅し文句が通用すると考えていること自体、時代錯誤でしかない。とはいえ、こんな「警句」で市民を黙らせようとする議員の質の低さと、そんな議員を当選させてしまった当市の民度の低さをこそ嘆くべきである。もって、今後の議員の選出に活かさねばならない。